

レギュラー・プロジェクト・プログラム(RPP) 募集要項【8月開始】

2022/6/23

同志社ローム記念館では、下記の要項でプロジェクトを募集します。日頃の授業や PPP で学んだこと、また、自身の経験や得意分野、スキルを活かして、「今だからこそ」のプロジェクトを企画、計画してください。

実施条件について

1) 募集するプロジェクト

同志社ローム記念館では、ローム株式会社との学術交流協定のもとご寄付いただいた基金をはじめ、団体・個人からの寄付金等をもとに同志社ローム記念館プロジェクトを運営しています。

次のようなプロジェクトを理想として掲げ、その活動を通じて、社会に有意な人物の育成をはかります。

<プロジェクトポリシー>

- 持続可能な社会の実現に向けて、その貢献に資する高い成果をあげ、新しいアイデアやしくみを創出する
- 同志社建学の精神に基づき、自由な発想・考え方で果敢なチャレンジがある
- 全国・世界に誇れる活動を展開する

※同志社建学の精神：国際主義・自由主義・キリスト教主義

本募集要項に基づき、**学生・生徒が主体的に取り組むプロジェクトを募集**します。

募集件数 若干数

活動費 1プロジェクトあたり 10万円 まで

実施期間 2022年8月22日(月) から 2023年2月28日(火) まで

※ 新型コロナウイルス感染状況等の都合により、やむを得ず変更する場合があります。

活動拠点 オンライン もしくは、館内のプロジェクトルームを貸与

※ 1階 多目的スペースや、3階 オープンスペースについても、広報物の掲示等活動 PR の場として活用できます。

※ 引き続き、新型コロナウイルス感染予防の措置をとりながらの活動展開が見込まれることから、可能な限り、オンラインでの活動展開を想定して計画を立ててください。対面活動が可能になった際の活動展開を想定する場合は、併記してください。ルームを利用する場合は、利用時間や定員、飲食や換気、物品の消毒に関することなど、利用ルールに従ってください。

<プロジェクトの例>

- ・ 理科教育の重要性から、中高生がスマートフォンやタブレット端末で気軽に実験が行える AR アプリの開発
- ・ 女子大学生のキャリア実現をテーマにしたフリーペーパーの企画・発行
- ・ 大学生のプログラミングスキル向上のため、大学内でのコミュニティづくりと勉強会やハッカソンイベントの企画・運営

2) 申請の条件

同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会が主催する「プレ・プロジェクト・プログラム (PPP)」に参加したメンバーによる申請であること

- **PPP 修了生が 2 名以上いること**

プレ・プロジェクト・プログラム (PPP) に参加し、承認を受けた人でプロジェクトチームを構成してください。

● 学校法人同志社の専任教職員がプロジェクト責任者として参加すること

プロジェクト活動を円滑に進めるための相談や、技術的なアドバイスをもらうなど、プロジェクトのサポートをしていただける学校法人同志社の専任教職員を探してください。所属する学部学科の教員や職員にプロジェクトの実施目的を説明し、賛同いただければプロジェクトの責任者になってくださる可能性はあります。サポートをいただける教職員を探すことが困難な場合は、PPP グループワークの担当委員もしくは事務室へご相談ください。

なお、活動による知的財産権利用等にかかわる責任は、ローム記念館プロジェクト運営委員会が負います。

3) プロジェクトの計画と申請

PPP「プロジェクト基礎講座」などで学んだことを活かし、プロジェクトの企画・計画を立ててください。下記項目について、所定の書式に必要事項を記載の上、提出してください。

プロジェクトは、必ずしも計画通りに進むとは限りません。計画の中で、不確定な要素はどれか、また、計画の遅れや変更を発生させる可能性のあるリスクについても想定しておく必要があります。現時点では、引き続き、新型コロナウイルス感染予防の措置をとりながらの活動展開が見込まれることから、対面での活動が伴う取り組みを企画する場合も、完全オンラインでの活動展開になった場合を想定して計画を立ててください。

① プロジェクト名

どのようなプロジェクトか（目的や活動内容）がわかりやすいプロジェクト名をつけてください。覚えてもらいやすい愛称をつけても構いません。

② 背景・目的

同志社ローム記念館プロジェクトポリシーのどの部分を念頭において企画されたプロジェクトなのか、PPP「プロジェクト基礎講座」などで学んだことを活かし、プロジェクトを実施する意義、目的を明確にしてください。なぜこのプロジェクトを実施したいか、このプロジェクトを実施することにどのような意味があるかが第三者に伝わるよう、論理的に説明できているか、全員で確認してください。

③ 本年度の目的

目的に向かって、本年度のプロジェクトにおいて実現したいことを明示してください。SMART（Specific: 具体的な Measurable: 測定可能な Achievable: 達成可能な Related: 目的に関連した Time-bound: 期限明確な）を意識して、本年度の活動期間中にどのような成果をあげるか、具体的なゴールを設定してください。関係者やターゲット層の人達の視点も意識し、常に目的に沿っているかをチェックしながら、よく検討してください。

なお、プロジェクトにより生み出された成果は、参加する学生・生徒の権利保護の観点から、原則として同志社ローム記念館発明規程に準じて取扱うこととしています。ただし、具体的な条件については、それぞれ関係者と委員会が協議のうえ決定します。

④ 活動内容

目的達成に向けて、具体的にどのような活動を展開するか、別紙のスケジュールとあわせて検討してください。メンバーを集める際にも、いつ頃どのような活動を行う予定かを示すことが重要です。グループ（担当）や活動内容・手順などの項目に分けるなどしてわかりやすく示してください。

⑤ メンバー数

活動を予定通り進めるために必要な人員について考え、人数を示してください。具体的にどのような活動を行う必要があるか、スケジュールとあわせて検討してください。なお、PPP 修了生以外はメンバーと認められません。PPP を修了するまでは「候補生」となり、プロジェクトルームの使用不可・Teams 各プロジェクト

チャンネルへの登録不可など、活動に制限がありますのでご注意ください。

⑥ルームの付与

活動内容によりプロジェクトルームの使用が必要な場合は、付与することができます。ルームにはプロジェクトメンバー以外は入室できません。

なお、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、当面ルームの使用については、以下内容にて運用します。

- ・入室人数：使用人数を制限します（複数名での使用を希望する場合、事前に事務室まで相談してください）
 - ・入室時は換気のため、ドアは常に開放しておく
 - ・ルームへの入退室時は、必ず手指消毒をおこなう
- ※大学等の感染症拡大予防ガイドライン等にもとづき使用ルールを変更します。

⑦申請代表者（プロジェクトリーダー）

プロジェクトの実施申請にあたり代表となるメンバーの情報を記入してください。

⑧プロジェクト責任者（学校法人同志社の専任教職員）

活動開始にあたり、プロジェクト運営面、技術面などで積極的に相談できる教職員に「プロジェクト責任者」の就任を依頼してください。エントリーシートの内容について、プロジェクトの意義や目的が明確か、活動内容が妥当か等十分に確認いただき、「プロジェクトエントリーチェック表」に評価していただきます。

エントリーシートはプロジェクト責任者の承認を得て、本プロジェクトについての推薦理由をいただいたうえで提出してください。エントリー時は、プロジェクト責任者のメールアドレスをCcに登録し、同時送信してください。

⑨メンバー一覧

本プロジェクトの目的に賛同し、エントリーシートに示された活動に主体的に取り組む人について、記載してください。（★メンバー…PPP 修了生 ★メンバー候補生…2023年度 PPP 受講予定者）
連携先（企業・団体など）がある場合は、所定の欄へ記入してください。

⑩スケジュール

期間途中に設ける到達目標（マイルストーン）や大まかな作業手順など、目的達成までのプロセスをわかりやすく示してください。必要な活動内容や手順など、プロジェクトの開始から完了までのシミュレーションをし、目的や目標からの逆算思考も使いながら計画を立ててください。

また、同志社クローバー祭には必ず参加してください。同志社クローバー祭は大学と地域が連携した地域密着型の学園祭で、京田辺キャンパスで開催されます。京田辺市民をはじめ、多くの来場者が見込まれますので、本プロジェクトの活動・成果をアピールする場として、また活動内容について様々な方からの意見を取り入れる機会として活用してください。どのような企画で出展するかエントリーシートに必ず記入してください。開催が対面とオンライン、いずれの開催になったとしても対応できるように企画を検討してください。

<過去の例>

【対 面】D | R vol.30 (P.15-16 : 同志社クローバー祭 2018)

<https://roh.m.doshisha.ac.jp/attach/page/ROHM-PAGE-JA-55/109106/file/DRv30.pdf>

【オンライン】D | R vol.32 (P.4 : Pick up! 同志社クローバー祭 2020)

https://roh.m.doshisha.ac.jp/attach/page/ROHM-PAGE-JA-55/147257/file/DR_v32.pdf

⑪予算

「収入」の項目には同志社ローム記念館からの活動費の希望額（上限 10 万円）を含め、活動を進めるにあたって見込んでいる収入をすべて記入してください。

同志社ローム記念館からの活動費は予算書を確認し、直接経費として必要と判断したものについて、原則と

して上限額を超えない範囲で付与します。付与される活動費以外の資金を活動費に充ててもかまいません。企業・団体からの支援や、補助金・助成金への申請等を予定している場合は「収入」欄に明示してください。

企業・団体より奨学寄付金としてご提供いただく場合はプロジェクト活動費として支出可能な金額は提供金額の90パーセントとなります。(10パーセントは事務経費に充てられます)

なお、クラウドファンディングでの資金調達は認められません。

「支出」の項目には活動にあたって必要となる費用を具体的に記入してください。活動費として認められる主な支出は以下のとおりです。

<活動費の対象となる主な支出>

文具雑品(消耗品)・材料・部品・図書などの購入費用、郵便・宅配便の送料、ポスター・冊子などの印刷費、3Dプリンタ利用料、フィールドワーク等による交通費(通学経路範囲外)、勉強会講師や協力者等への謝礼など(PC等、機器や物品については、一部貸与できるものもあります。)

*付与された活動費により購入した図書・備品はすべて学校法人同志社に帰属し、プロジェクト期間終了時には全て返却が求められます。(消耗品は除く)

予算書は「収入」の合計金額と「支出」の合計金額の差額が0円になるように作成してください。

採択後、活動費に関する手続きは、各プロジェクトで決めた「会計責任者」によりおこなっていただきます。その他、不明な点がありましたら、事務室にご相談ください。

応募手続について

1) 募集期間

2022年7月2日(土) 0:00 ~ 2022年7月13日(水) 23:59まで

2) 提出方法

必要書類を、下記提出先へメールで提出してください。

メール送信時は、プロジェクト責任者のアドレスをCcに設定してください。

3) 必要書類

プロジェクトエントリーシート (チェックシート、添付書類を含む)

所定書式は、[Teams](#)にてご案内します。

所定の書式を補足する資料がある場合は、添付書類として提出してください(ファイルサイズ合計3MBまで)。また、参加企業・団体がある場合は、企業・団体の概要がわかる書類を添付してください。

※今回の応募にあたり提出いただきました個人情報、本プロジェクト審査以外には一切使用いたしません。

E-mail : jt-rohm@mail.doshisha.ac.jp

※件名に「**2022年度 RPP エントリーについて (プロジェクト名)**」

と明記してください。

5) 問合せ 同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会事務局

同志社ローム記念館事務室

E-mail : jt-rohm@mail.doshisha.ac.jp

電話 : 0774-65-7800

プロジェクト採択の審査について

エントリーシートに基づき、同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会、WG委員会の委員による書類審査を行います。(必要に応じ、ヒアリングの実施、資料の追加等をお願いする場合があります。)

2022年7月25日(月)頃

書類審査の結果をお知らせします。

↓ 通過した場合

2022年8月2日(火) 10:00~

オンラインでのプレゼン審査(1プロジェクト:約20分)

↓

※当日は必ず複数名で出席してください

2022年8月9日(火)

採否についてお知らせします。

- ・実施についての条件を付す場合があります。
- ・審査結果は、申請代表者宛のメールにて通知します。
- ・採択決定後は、プロジェクト名や目的、活動内容などの情報を Web サイト等で公表します。

<評価基準>

- ① 目的の明確さ：同志社ローム記念館プロジェクトポリシーに照らし合わせて、目的設定が適切か
- ② アイディアの妥当性：プロジェクトのアイディアが目的達成に向けて効果的か
- ③ オリジナリティ：アイディアがどれほど目新しいか
- ④ 実現可能性：現実的に実現できる可能性が高いか

活動の実施について

プロジェクト採択の通知に基づき、計画に沿って活動を展開してください。

1) 活動報告

期間中、報告会や書類提出、面談により、目的達成度の確認を行います。同志社ローム記念館プロジェクト運営委員会の求めに応じ、活動の経過報告を行ってください。

活動の著しい遅延や、無断での活動内容変更など、掲げた目的の達成が見込めない時は、活動中止とする場合があります。また、活動期間中は、オリジナルサイトや既存のツールを活用し、Web 上で定期的な活動経過報告をしてください。

2) 成果報告

活動期間終了日<2023年2月28日(火)>までに、成果報告を求めます。
報告内容や方法など、詳しくは、活動開始後にお知らせします。

3) プロジェクトの評価

成果報告に基づき、下記の基準でプロジェクトを評価します。
精力的に活動に取り組み、高い成果を上げたプロジェクトに対し、「同志社ローム記念館大賞」「同志社総長賞」などの賞を授与します。

<評価基準>

- ①目的達成度（成果）
 - ・当初立てた目的がどの程度達成できたか
 - ・高いクオリティの成果物が完成したか
 - ・活動や成果が、大きな効果・影響を与えているか
- ②活動内容（計画）
 - ・より良い成果達成に向けてルールや手法、実施体制等について改善がはかられていたか
 - ・活動をふりかえり、自己評価できているか

4) その他

★広報活動への協力

同志社ローム記念館の広報のために、広報誌や Web サイト、Facebook ページなどで、活動風景の写真や動画を使用することがあります。

★「同志社ローム記念館プロジェクト」の明示

活動における情報発信時には、「同志社ローム記念館プロジェクト」であること、また、採択年度を明示し

てください。

★著作権等の取り扱い

広報活動や成果物作成・公開にあたり、著作権等を侵害することにならないよう、各プロジェクトで責任を持って必要な手続き等の調査を行ってください。手続きにあたり、委員会からの文書等が必要な場合は、事務局へ申し出てください。

★機密保持

プロジェクト推進にあたり、協力企業・団体等から受領した情報のうち、相手方から秘密である旨明示されたものについては、当該プロジェクト推進のためにのみ用い、第三者に開示することはできません。

★個人情報の保護

プロジェクト活動に伴って入手した個人情報等について、個人や団体の権利・利害を損することのないよう、適切に取り扱ってください。

以上